

# 3年学年だより

2020, 5, 22  
石川県立小松明峰高等学校  
第3学年発行 No. 3

## 新しい生活様式の中で

### ～学校再開の準備を～



季節はもう初夏となり、さわやかな風とつつじや菖蒲が咲いています。新型コロナウイルスの影響で学校の臨時休業が約3か月続きました。家にこもっている生活はいつもと違い、いろいろなストレスや不安を抱えた人もいないのではないかと思います。14日に石川県も緊急事態宣言が解除され、分散登校という形で本日の登校日を迎えることができました。今回の新型コロナウイルスの影響で新しい生活様式が提示されています。感染防止の基本として①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い、うがいの徹底を心掛けていきましょう。また、休業中は出席確認カードを提出してもらいましたが、皆さんの生活リズムを見ていると、夜型の生活で少々乱れている人もいました。18日から「Google クラスルーム」で朝礼（出席確認カードの提出）やこれからの3回の登校日を利用して、自分の生活習慣を見直し、6月からの学校生活がスムーズに開始できるように準備していきましょう。



## 先生からのメッセージ(32H担任 二羽奈保美先生)

私の高校時代、それは暗い暗いトンネルの中にいるような時代でした。というのは私自身、体力があるわけでもなく、頭がいいわけでもない、ということで部活動の両立なんてできないし、周りは学校に登校したら、数学の問題集を解いているクラスだったので、私も「オリジナル」という数学の最高峰問題集をひたすら解いていました。

時代でいうとバブル景気の前（電話は黒電話？）で大学センター試験の前の共通試験 1000 点満点のときでした。ですから、理系であろうと地歴2科目、理科2科目が必須で、私は日本史・地理・物理・化学という王道な選び方で真っ向から勝負してしまいました。塾のない頃ですから、中学校時代に部活動で身に付けた「弱い自分に負けない：克己心」で、華やかな女子が多く活気のある高校でしたが、それとは対照的に淋しくつらい気分で勉強しかしていませんでした。

自分の将来の目標は数学の教師になることでしたので、「自主自律」をテーマに自分の進路は自分で決め、受ける大学も自分で調べて計画して行きました。大学選びとしては、既に兄が県外の私立大学に進学していたため、家計が苦しかったと思いますが、親に反対されながらも、県外の大学を目指して最後までその思いは貫きました。親には金銭面で負担をかけないようにと、高校3年生の時に面接を受けて給付型奨学金を予約しました。

今、思うとそんな高校生活は暗すぎて皆さんにお勧めできません。お勧めしたいことは、自分の進路は責任を持って自分で切り開いていくことです。私の場合、“教師になって石川県に戻る”という親との約束を果たし、教員として35年目を迎えたことは、私の人生の柱となっています。

灰色ハイスクールで闇な生徒でしたが、その後、素敵な出会いもたくさんありました。高校3年間培った忍耐力は決して無駄ではなく、暗いトンネルを通り越すたびに人間として成長でき、将来の幸せにつながっていたことも実感しています。

現在「新型コロナウイルス」で未曾有の困難が強いられています。私もこのような経験は初めてです。しかし、これからの社会で生きていくには、予測できない困難にも前向きに捉え、今置かれている自分をしっかり見つめて、希望という光の方向に進むしかないかな、と思っています。

私の座右の銘は「明珠在掌」です。意味は、「人間一人ひとりはとても素晴らしい輝く珠（可能性）を持っており、それを生かしていく」というふうに解釈して教職を続けていますが、このような苦境に置かれても、切り開いていく道が必ずありますので、1日1日大切に、自分の進路に真摯に向き合ってください。

**お知らせ**（今のところ予定です）

6月8日(月)～放課後補習開始

6月13日(土)ベネッセ6月マーク模試